

半期ディスクロージャー誌

令和7年4月1日～令和7年9月30日

1. 当 J A の概要

①概要

名 称	福井県農業協同組合
代 表 理 事 組 合 長	齊藤 雅幸
本 店 所 在 地	福井市大手3丁目2番18号
支 店 等	支店 29支店 5出張所 事業所 116事業所
職 員 数	正職員数 1,314人 臨時職員 668人
組 合 員 数	正組合員 40,276人 准組合員 60,023人
出 資 金	17,335,362,000円

注) 職員数は、子会社へ出向している職員を含んでいます。

注) 支店等の数は令和7年9月30日現在です。

②経営理念

ふくいの農業と
くらしを
いっまでも安心して

激動する環境変化の中で、希望を見出し、将来に渡って、一人でも多くの人が安心して農業を営み、安心してくらすことができるよう取り組みを展開し、J Aに関わるすべての人のよりよい明日を築いていきます。

③ビジョン

地域とともに歩み信頼される J A

地域あつての J A であり、地域に根ざした活動を行うとともに、ふくいの農業とくらしを支え続ける経営基盤を確立し、組合員・地域住民のニーズに応じた取り組みを通じて、信頼される J A をめざします。

④行動指針

一、組合員・地域住民の夢・希望がふくらむ事業を展開し、ふくい農業を振興します。

組合員・地域住民一人一人の願いをかなえとともに、県民が夢や希望をふくらませ、前向きに農業を営み、豊かにくらしていくことにより、各地域の農業を振興し、結果として県全体の農業の振興をはかります。

一、人と人・地域と地域・事業と事業をつなぎくみあわせるとともに、豊かで安心なくらしを実現します。

地域内はもとより、従来の地域の枠を超えて人と地域をつなぎ、協同の力を発揮します。また、JAの有するさまざまな事業を組み合わせることで、総合事業の強みを最大限に発揮し、豊かでくらしやすい地域社会の実現をめざします。

一、自然・農村風景をいつくしみ、いつまでも農業を安心して続けることができる取り組みを実践します。

山・川・海などの自然環境と協調し、農村風景を維持する意味においても、農業を守っていき、地域に根差した協同組合として、経営基盤を確立し、持続的に農業を行うことができる環境の実現をめざします。

2. 農業振興活動

農業・JAを取り巻く情勢は、中山間地をはじめとした農村部における人口および基幹的農業従事者数の減少・高齢化の進行に伴い、耕作放棄地の拡大も継続しています。また、生産資材価格の高止まり等が農業経営に大きな影響を及ぼしています。一方で、昨年は農政の基本指針を定めた「食料・農業・農村基本法」の改正により、食料安全保障の確保を軸に農業の持続的な発展等の方向性が示され、国内の農産生産の増大、そのための合理的な価格形成の重要性が基本理念に据えられました。

このような状況を踏まえ、JA福井県では、経済事業において、物流コスト削減を図るため抜本的な改革に取り組み、資材価格の抑制に繋がっていきます。米穀販売事業では、集荷率の向上に向けた対策を強化し、新たな有利販売先の開拓を推進し、生産者の生産意欲の向上と安定的な所得確保を図ります。園芸販売事業では、行政と連携した県域重点品目の生産面積拡大や、県域一元集荷販売の実現、新たな出荷規格による福井県ブランド価値の向上に尽力いたします。

3. 地域貢献活動

(1) 地域貢献の全般に関する事項

当組合は、福井県を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）により運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では、資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、J Aの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

(2) 地域からの資金調達の状況

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりした貯金の残高は 870,283 百万円となっています。

(単位：百万円)

区 分	残 高
組合員	734,807
その他	135,476
合 計	870,283

① 貯金商品

貯金の種類		特色	期間	お預入れ金額
普通貯金		給料や年金のお受け取り、公共料金等の自動振替等家計簿代わりにご利用いただけます。	出し入れ自由	1 円以上
総合口座		「貯める・増やす・支払う・受け取る・借りる」の機能が 1 冊の通帳でご利用出来ます。給与振込や公共料金の自動振替、自動融資もご利用になれます。	出し入れ自由	1 円以上
定期貯金	スーパー定期	市場金利に応じて J A が利率を設定する、自由金利型定期貯金です。お預け入れ時の利率が満期時まで変わらず安全で確実です。	1 か月以上 10 年以内	1 万円以上
	大口定期	1,000 万円以上の大口資金の運用にご活用下さい。金融情勢により、J A が利率を設定しますので、有利に運用できます。	1 か月以上 10 年以内	1,000 万円以上

	変動金利	お預け入れから半年毎に適用金利を見直す貯金です。	3 年	1 万円以上
	定期積金	計画的に毎月積み立て出来る貯金です。ボーナス併用型でよりスピーディーに。また、口座振替されますとより便利で確実です。	6 か月以上 5 年以内	1,000 円以上

※その他、当座貯金、納税準備貯金、期日指定定期貯金、財形貯蓄など目的や金額に応じてご利用いただけます。

(3) 地域への資金供給の状況

組合員をはじめ地域の皆さまへの貸出金残高は 188,109 百万円となっています。

(単位：百万円)

区 分	残 高
組合員	110,857
その他	77,252
合 計	188,109

注) 1. 組合員の貸出金残高には、「組合員と同一世帯に属する者の貯金担保貸出額」および「非営利法人（地方公共団体を除く）の貯金担保貸出額」を含みます。

2. 単位未満切り捨ての関係から各項目の計と合計が合わない場合があります。

① 主な農業制度融資取扱状況

(単位：件・百万円)

資金名	件数	金額	概要
農業近代化資金	234	1,825	農業の担い手の育成を中心課題に農業経営の近代化や資本装備の高度化等に必要な資金を融通します。
農業経営支援資金	12	5	知事が指定した天災により被災した農業者等に対し、営農の維持に必要な資金を融通します。
新農業経営改善促進資金 (スーパー S 資金)	13	32	効率的かつ安定的な経営体を目指して、基盤強化法に基づく認定を受けた農業経営改善計画を達成しようとする農業者に対してその計画達成のために必要となる短期運転資金を融通します。

② 融資商品

資金名	資金使途	金額	期間
住宅ローン	住宅の新築・購入、 住宅の増改築、土地購入、 他金融機関で借入中の住宅 ローン借換資金等	2 億円以内	50 年以内
リフォームローン	住宅の増改築、改装、補修 等	1,500 万円以内	20 年以内
マイカーローン	自動車・バイク購入（中古 車を含む）、車検費用、運転 免許証取得費用等	1,000 万円以内	15 年以内
教育ローン	就学予定または就学中のお 子様の入学金、授業料、下 宿先の契約費用等	1,000 万円以内	15 年以内
多目的ローン	レジャー費用、冠婚葬祭費 用、耐久消費財の購入等	500 万円以内	10 年以内
カードローン	生活に必要とする一切の資 金	300 万円以内	1 年毎の自動更新
地域農業応援資金	農業用地・建物の取得、農 業用機械の取得、運転資金 等	2 億円以内	25 年以内（資金使 途により異なる）
担い手応援ローン	営農経営に必要な短期運転 資金	3,000 万円以内	1 年毎の自動更新

※詳しい融資条件につきましては、J Aの窓口へお問い合わせください。なお、申込に
際しましては、当 J A 所定の審査を行います。結果によっては、ご希望に添いかねる
場合もあります。

※上記のほかにも、目的に応じた資金をご用意しております。詳細につきましては、
J Aの窓口へお問い合わせください。

(4) 文化的・社会的貢献に関する事項

① 文化的・社会的貢献に関する事項

環境・文化・福祉への社会貢献活動を通じて、地域に密着したコミュニティ活動を強化し、組合員や地域住民の営農と生活を支え、健康で豊かなくらしやすい地域社会を協同の力で築きます。

<生活指導・くらしの活動>

健康管理・生活文化改善から、健康長寿・介護予防や多様なニーズに即した「くらしの活動」支援まで、支店・事業所を拠点に、地域に根差した協同活動として展開します。

- 健康づくり、介護・認知症予防の展開
 - ・正しい生活習慣の実践や乳がん検診の拡大、脳若返り活動などに取組みます。
- 地域に密着したくらしの活動支援の実践
 - ・食育活動などで地域活性化の組合員活動を支援します。
 - ・高齢者の生きがい作りのための活動、助け合い活動を地域や自治会等組織と連携して実施します。
- 支店を拠点とした地域活動の展開
 - ・組合員参加の地域密着の支店行動計画（協同活動）を実施します。
 - ・支店運営委員会を設置し、支店事業運営などに意見を反映します。

<主な地域活動>

学童米作農業体験の実施
園児たちとの野菜づくり
クリーン作戦、美化清掃活動の実施
地域活動への積極的参加
園芸教室・カルチャー教室の開催
料理教室の開催
学童野球大会の開催
学童柔道大会の開催
小学生交通安全啓蒙活動の実施
こども見守り隊への参加
窓口感謝DAYの開催
年金相談会の開催
法律相談会の開催
相続相談会の開催

② 情報提供活動

J A福井県では、組合員や利用者に向けて、さまざまなメディアを通じて、営農情報や地域情報を発信し、農業や地域の活性化に貢献します。

- 組合員向け月刊広報誌「ふくふる」の発行
- ホームページ、SNS、スマートフォンアプリの活用
- 新聞、テレビ、ラジオ等のメディアを通じたJ A活動の発信

4. 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	令和7年9月末	令和7年3月末	令和6年9月末
貯金	870,283	871,072	883,300
貸出金	188,109	171,856	167,379
組合員	110,857	102,078	91,257
地方公共団体	37,886	30,351	27,994
その他	39,365	39,427	34,062
預金	599,719	614,931	642,738
有価証券	57,276	64,304	57,230

注) 単位未満切り捨ての関係から各項目の計と合計が合わない場合があります。

5. 金融再生法開示債権（単体）

(単位：百万円)

債権区分	令和7年9月末	令和7年3月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,483	1,576	△93
危険債権	408	493	△85
要管理債権	116	88	27
正常債権	186,281	169,848	16,433
合計	188,289	172,006	16,283

注) 債権額は、貸出金・信用未収利息・信用仮払金等、信用事業総与信額（要管理債権は貸出金のみ）を対象として開示しています。なお、各債権の定義は以下のとおりです。

(1) 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、更生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

(2) 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。

(3) 要管理債権

三月以上延滞債権（(1)及び(2)に該当する債権を除く。）及び貸出条件緩和債権（(1)及び(2)に該当する債権や三月以上延滞債権を除く。）です。

(4) 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、(1)から(3)に掲げる債権以外のものに区分される債権です。

6. 単体自己資本比率

令和7年9月末（推計値）	令和7年3月末
13.14%程度	14.15%

注) 令和7年9月末の自己資本比率（推計値）は、令和7年3月末の自己資本額・信用リスク・アセット額・オペレーショナル・リスク相当額を基準に、9月末までの資産増減から推計した信用リスク・アセット増減額を令和7年3月末の信用リスク・アセット額に加減して算出しております。

7. 有価証券等時価情報

(1) 有価証券

(単位：百万円)

種 類	令和7年9月末			令和7年3月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
満期保有目的	31,877	30,494	△1,383	27,583	26,385	△1,198
そ の 他	28,920	25,360	△3,559	42,250	36,720	△5,529
合 計	60,798	55,855	△4,943	69,834	63,106	△6,727

- 注) 1. 有価証券の時価は、月末日における市場価格等に基づく時価としています。
 2. 令和7年9月末の取得価額は、償却原価法適用前、減損処理前のものです。
 3. 単位未満切り捨ての関係から各項目の計と合計が合わない場合があります。